

分化度の誤選択および組織型テキストの誤入力への対策

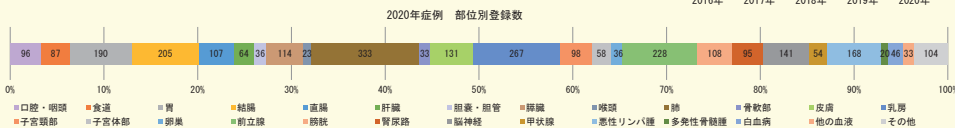
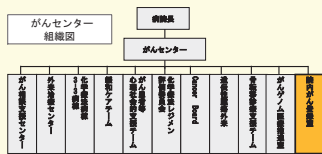


勝沼 侑香¹⁾、大瓦 三香¹⁾、坂口 花菜¹⁾、加賀屋 令華¹⁾、小船 光貴¹⁾、鶴見 有里彩¹⁾、
星野 寛道²⁾、金子 博子²⁾、佐々木 美沙²⁾、永根 基雄³⁾

- 1) 杏林大学医学部付属病院院内がん登録室 (診療情報管理室)
- 2) 杏林大学医学部付属病院院内がん登録室 (医事課医療秘書係)
- 3) 杏林大学医学部付属病院がんセンター (脳神経外科)

【 杏林大学医学部付属病院 の概要 】

特定機能病院
地域がん診療連携拠点病院
二次医療圏：北多摩南部
許可病床 1,153床
1日平均外来患者数 1,988人
平均在院日数 11.43日



【 目的 】

がん登録データの流れ

- 登録**
 - 登録する情報の収集 ⇒ Wチェック
 - HosCanR Next入力 ⇒ HosCanR Nextの品質管理ロジック ⇒ Wチェック
 - 独自の方法で修正箇所を検索
 - HoscanR Nextから登録データをExcelデータで抽出し、以下の10項目を確認して、要修正箇所・発生時点を見つけて出す
 - ①腫瘍番号の空白
 - ②郵便番号の下一桁が0でない7桁揃っている
 - ③患者氏名
 - ④都道府県コードと住所テキストの都道府県的一致
 - ⑤局在コード・テキスト
 - ⑥組織型コード・テキスト
 - ⑦分化度の選択
 - ⑧診療科テキストの空白
 - ⑨届け出状況の空白
 - ⑩死亡患者の事後調査方法
- 提出**
 - 品質管理ツールでデータのクリーニング
- 利用**
 - 施設別がん登録件数検索システム
 - 院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム (ほか)

患者・家族が目にする = **正確性**が求められる！

2020年症例の結果
 ・分化度(組織型コード6桁目)の選択
 ・組織型テキストのHoscanR Next入力
 他項目より修正箇所が多かった
対策を考案・試行!

【 方法 】 ※ 設定した期間 (22日間) で実施

分化度選択 への対策

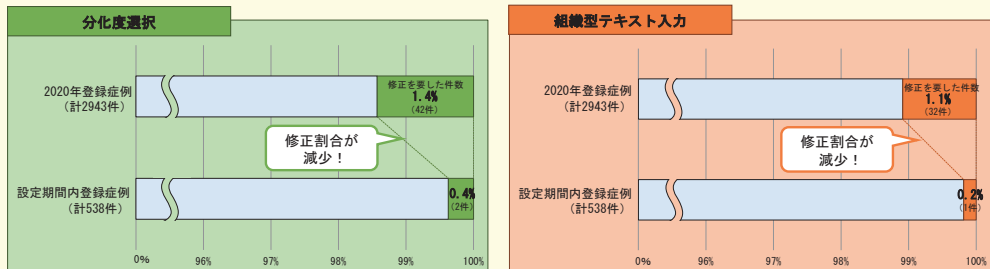
院内がん登録の各種研修で、各登録担当者が知り得たルールを1枚にまとめたものを**登録する情報の収集時に全員が使用**

組織型テキスト入力 への対策

情報入力時に目に入る場所に掲示
注意文
HoscanR Next 端末

※ 予測変換は、間違った文字列を学習している可能性があるため使用不可とした

【 結果 】 要修正件数割合の比較



【 考察 】

スキル・知識の差 ⇒ 情報の一元化 ⇒ 同じ情報を共有!

必要な情報を「全担当者が迷わずに常時取得できる環境」が重要!

修正の減少に繋がりにくい・・・
 ...修正要因の分析
 ...主な修正要因の共有
 ...具体的な注意点の提示

具体的な注意点 (例) ○を確認する ⇒ 修正の減少!

【 今後の課題 】

分化度選択

組織型テキスト入力

他の修正点発生...

→

新たな手段の考案・実施

より正確なデータ登録!

日本がん登録協議会
第31回学術集會
001開示
筆頭発表者: 勝沼 侑香
当演題発表に関し、開示すべき001はありません。